

平成 26 年度実施計画

1. 誘引対策

(1) 音声装置の稼働

赤岩対崖に 3 月中に稼働する。（悪天候の場合は例年通り 4 月に設置）

(2) デコイのメンテナンス

可能な範囲で屏風岩のデコイを撤去し、色塗りなどメンテナンスを実施する。

2. 飛来・繁殖調査

繁殖地内カメラや目視等により、飛来数、餌運び、雛及び巣立ち等の調査を実施する。

(1) 繁殖地内カメラの稼働（交換・メンテナンス・改良の実施）

4 月中に既存の繁殖地内カメラの交換とメンテナンス作業を行う。また平成 25 年度の結果を踏まえ、カメラの汚れ防止機能に改良を加えるほか、録音機能の追加を行い繁殖地内の音声の録音を行う。

(2) 渡り調査

ウミガラスの渡りの時期である 3 月～4 月上旬に渡りの調査を数度、実施する。

(3) 目視調査

その他隨時、目視による調査を行う。

3. 捕食者対策

平成 25 年度に引き続き、オオセグロカモメ・ハシブトガラスの捕食者対策を実施する。

(1) 銃器（エアライフル）による捕獲

1) 実施時期

5 月から 8 月（週 1 回程度）

2) 実施範囲・捕獲上限数

a) オオセグロカモメ

ウミガラスに被害を及ぼす恐れのある赤岩対崖繁殖地周辺の個体を捕獲する。

b) ハシブトガラス

ウミガラスに被害を及ぼす恐れのある海鳥繁殖地・ねぐら周辺の個体を捕獲する。

(2) モニタリング調査

ハシブトガラスについて、月 1 回程度ラインセンサス調査を実施し、個体数に変動がみられるか調査する。オオセグロカモメについても、天売島海鳥研究室の調査に協力し個体数に変動がみられるか調査する。

4. 普及啓発活動

繁殖地内カメラの映像（音声付き）を活用し、ウミガラスに関するリアルタイムの情報発信を地元関係者、観光施設などと連携して実施する。

5. その他

(1) 希少鳥類（ケイマフリ、ウミスズメ）調査

1) ケイマフリ

引き続き個体数調査と繁殖数調査を行う。

2) ウミスズメ

北海道海鳥センター友の会が助成金を獲得できた場合に、引き続き海上個体数調査、繁殖数調査を行う。

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
1. 誘引対策						
(1) 音声装置の稼働		←	→			
(2) デコイのメンテナンス		←	→			
2. 飛来・繁殖調査						
(1) 繁殖地カメラの稼働		←	→			
(2) 渡り調査		←→				
(3) 目視調査		←	→			
3. 捕食者対策						
(1) エアライフルによる捕獲			←	→		
(2) 捕食者モニタリング調査		←	→			
4. 普及啓発活動		←	→			
5. その他						
(1) 希少海鳥の調査		←	→			
ウミガラスの行動(H25年実績)	←→	→	←→	←→	←→	←→
	渡り	繁殖地へ移動、繁殖行動	抱卵	育雛	巣立ち	